



# 奈良の山々の魅力発信に向けて ～奈良山岳自然ガイド協会～

奈良山岳自然ガイド協会（会長：岩本泉治氏）は、「古代から受け継がれた大峯・大台の山々を保全し、未来へ引き継いでいくことを使命とし、地域の人たちとともに活動することによって、吉野地域など奈良県南部・東部の振興発展に寄与する」ことを理念として、平成27年4月に設立された。

### ■協会設立への思い

大峯山系の山々は、神々の宿る場所として古くから信仰を集め、修験の聖地としてユネスコの世界遺産に「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録されて以来、内外から多くの人たちが訪れている。

一方で、県内での山岳遭難事故も多発しており、近年は死亡事故が増加するなど新たな対応が急がれている。

このような山や自然を取り巻く社会の動向は「山岳ガイドや自然ガイドと呼ばれる、より安全性と専門性を有するスペシャリストの必要性が高まっている」との思いから協会が設立された。

### ■登山自然ガイド人材の育成

ガイドには山や自然を安全に案内するために、登山の正しい技術や知識・体力の向上が求められる。同協会では「登山ガイド養成講座」の実施や、日本山岳ガイド協会に団体加盟した上で、県内においてガイド資格認定講習・試験の実施を予定するなど、人材育成に重点的に取り組む。

### ■自主企画ツアーの実施

同協会には山岳ガイドの資格を持つ登山家のほか、修験道の道案内をする先達、山岳写真家など多彩な人材が揃っている。所属ガイドの特性を活かしたさまざまな形態の登山ツアーとして「名峰・名山の山旅」、「花を愛でる山旅」、「山を撮る写真の山旅」などテーマ性のあるツアーをシーズンごとに企画する。

また、大峯・大台の豊かな山岳資源の魅力を高

めるため、地域に住む人たちと連動し、新しい魅力発見のための素材を発掘・加工して永続的なデジタル創出に貢献する着地型ツアーも開発していく予定。



ツアーの様子



「弘法大師の道」  
案内山行

### ■登山・自然環境保全のための活動

県内の山々や自然公園の管理・維持の機能を高め、安全な活動が行えるよう登山道や道標の整備、遭難を防止するための一般登山者への啓発活動を実施するほか、自然災害時における救難救援活動及び山岳遭難救助活動の支援などの地域貢献活動を目指す。他にも、青少年の自然体験活動等の支援として、登山技術講習をはじめ、自然教育、自然環境、救助・救援などのテーマを中心に、講演会・研修会や参加型ワークショップ等への講師・アドバイザーの派遣も行う予定。

単に地域を案内するというガイドニーズの具現化だけでなく、地域とともに新しいビジターを創出する山岳ツーリズムの実現を通して吉野山間地域の活力・活性化を目指して活動するとしている。

来年度から新しい国民の祝日「山の日」が始まる、奈良山岳自然ガイド協会の活躍に期待したい。

（奥 桂子）

協会URL <http://www.nara-ssg.jp>